

平成20年3月期 中間決算説明会

平成19年11月15日



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>

目次

1. 平成20年3月期中間決算の概要
2. 平成20年3月期の見通し

本資料についてのご注意

本資料に記載した当期の売上高、利益の予想数値は、業界の動向を含む経済状況、お客様の動向等、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としており、種々の不確実な要因の影響を受けます。実際の売上高および利益は、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合があります。

平成20年3月期中間決算の概要

単体業績状況

(単位：百万円、%)

	金額	売上比率	計画比	前年同期比
売上高	18,749	-	96.2	106.0
売上総利益	3,568	19.0%	93.9	104.2
営業利益	1,931	10.3%	92.0	102.9
経常利益	2,124	11.3%	92.4	108.3
中間純利益	1,289	6.9%	95.5	110.9
期末仕掛品	1,335		190.7	180.6



FAITECを加味すると(概算)


金額	前年同期比
21,312	109.3
4,041	108.7
2,267	109.1
2,461	113.8
1,488	116.2

※FAITEC切出し分は、今期約5億円(今期で切出し終了予定)

パフォーマンスは目標を超過(仕掛品の増加により計画未達)

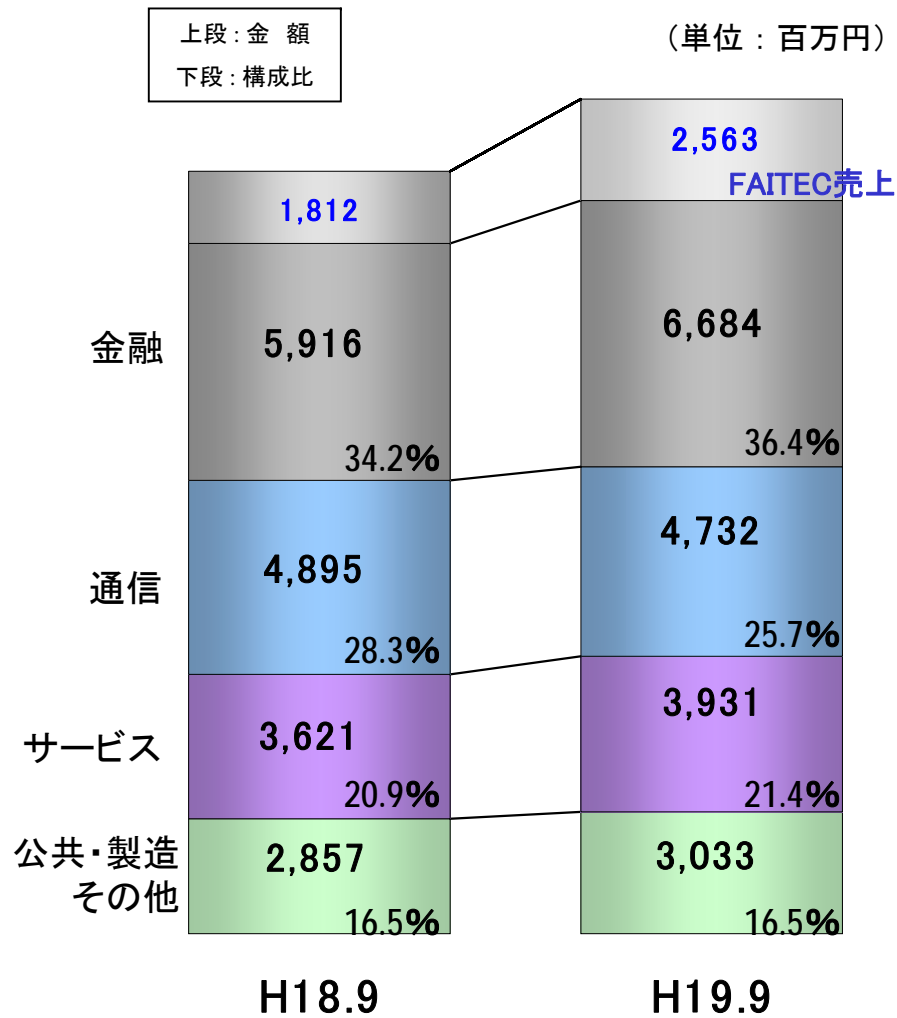
サービス別売上高の状況(単体)

(単位：百万円、%)

	金額 (構成比)	計画比	前年 同期比		金額	前年 同期比
情報サービス	18,381 (98.0%)	95.4	106.3	 FAITECを加味すると(概算)	20,944	109.6
システム	12,182 (65.0%)	95.2	106.5		14,745	111.3
オペレーション	3,178 (17.0%)	97.7	99.6		3,178	99.6
ネットワーク	3,020 (16.1%)	93.9	113.2		3,020	113.2
プロダクト	368 (2.0%)	160.1	91.4		368	91.4
計	18,749 (100.0%)	96.2	106.0		21,312	109.3

プライム案件が増加、プロダクトもSI受注により計画比増

エンドユーザー別売上高 (単体: 情報サービス)

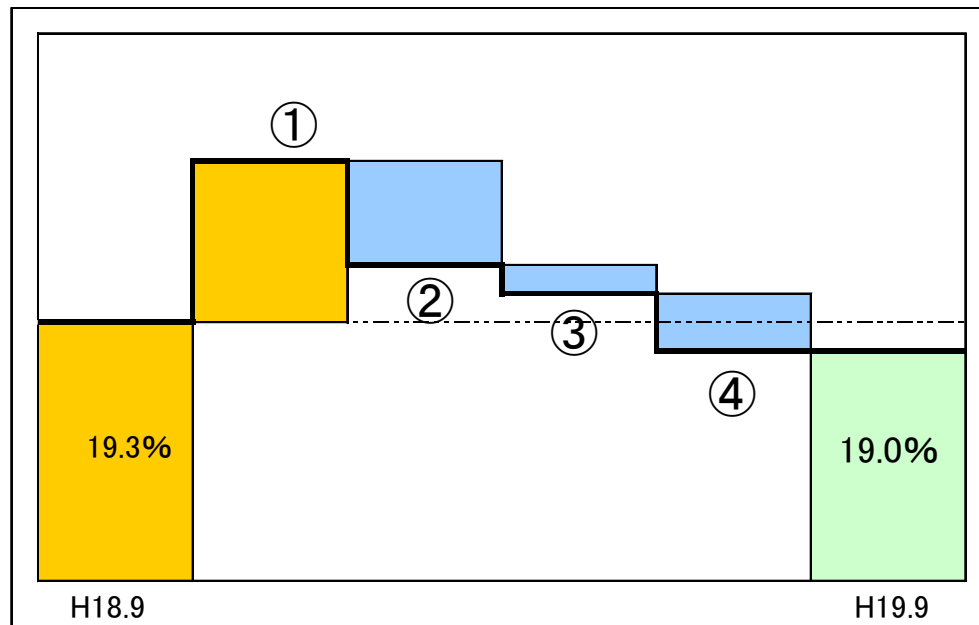


- **金融** (前期比 113.0%、構成比 +2.2%)
[FAITECを加味すると前期比 119.7%]
 - ・統合案件により大幅増加
 - ・電子マネーも好調
 - FAITEC単体では生保案件で大幅増加 (前期比 141.1%)
- **通信** (前期比 96.7%、構成比 Δ 2.6%)
 - ・既存基幹系システム更改の一巡
 - ・次世代通信網開発の立上り遅れ
- **サービス** (前期比 108.5%、構成比 +0.5%)
 - ・WEB系やマイグレーション等、新規案件の増加
 - ・既存顧客も好調
- **公共・製造その他**
(前期比 106.1%、構成比 \pm 0%)
 - ・デジタル家電の組み込みソフト開発案件の増加
 - ・官公庁向けは減少

【注】エンドユーザー別分類についてはお客様の業態変更等により前期、今期ともに見直しております。

売上総利益 (単体)

売上総利益 3,568百万円 } (前期比 104.2%
}) 売上比率 19.0%
 [前期 3,423百万円、売上比率 19.3%]



- ① 売上単価の改善等 +3.1ポイント
 - ② 労務費単価の上昇 △2.0ポイント
 - ③ 外注比率の上昇 △0.4ポイント
 - ④ 低採算案件 △1.0ポイント
- ★ 外注単価の上昇なし(伸びゼロ)

➡ 利益率0.3ポイント低下

売上総利益率の低下も売上総利益額は増加

営業利益、経常利益 (単体)

販管費 1,637百万円 (前期比105.8%、売上比率8.7%)
[前期1,547百万円 (+90百万円)]

中期総合計画に基づく戦略的費用の増加

オフショア推進および海外展開	+46百万円 (2.8%)
新市場開発の推進	+44百万円 (2.7%)
教育研修充実	+34百万円 (2.0%)
グループ総合力強化 (連結会計強化等)	+11百万円 (0.7%)

MIRUCA (教育会社) 新設による費用の減少

教育研修費用の削減 Δ 48百万円 (2.9%)

営業利益 1,931百万円 (前期比102.9%、売上比率10.3% (前期比 Δ 0.3pt))

子会社からの受取配当金増加など +193百万円 (227.1%)

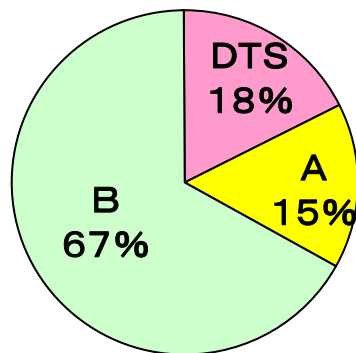
経常利益 2,124百万円 (前期比108.3%、売上比率11.3% (前期比+0.2pt))

グループ各社の業績状況

連結成長額の各社内訳

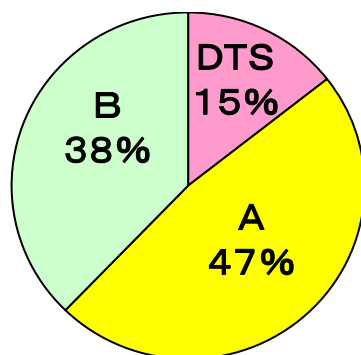
(単位：百万円、%は前期比)

・売上高 +56.5億円



	売上高		営業利益		
	金額	前期比	金額	前期比	
A	データリンクス	3,953	99.9%	158	90.7%
	FAITEC	2,563	141.4%	336	167.0%
	九州DTS	550	105.4%	45	107.5%
	MIRUCA	129	-	31	-
	連結増加額	9.0億円		1.7億円	

・営業利益 (除くのれん) +3.7億円



B	日本SE	3,028	-	97	-
	総合システムサービス	686	-	46	-
	RD	486	-	△8	-
	連結増加額	38.6億円		1.3億円	

のれん償却額の伸び：+3.9億円

(日本SE社の営業利益は、のれん償却額2.2億円を除いた数値)

売上高は大幅増加、営業利益は新規連結会社の増加に伴うのれん償却額の増加によりほぼ前期並み

連結業績状況

(単位：百万円、%)

	金額	売上比率	計画比	前期比	連単倍率
売上高	28,984	—	97.9	124.2	1.55倍
売上総利益	5,236	18.1	97.0	123.9	1.47倍
営業利益	2,240	7.7	99.6	98.8	1.16倍
経常利益	2,281	7.9	97.1	99.1	1.07倍
中間純利益	1,226	4.2	106.6	96.6	0.95倍

販管費 2,996百万円(前期比+1,037百万円、152.9%)

のれん償却額

+395百万円

新規連結会社の販管費(日本SEののれん償却額を除く)




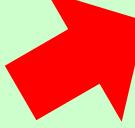
+552百万円

DTS単体の戦略的販管費

+ 90百万円

平成20年3月期の見通し

下期の市場環境(当社受注状況)

業種	受注状況	今後のポイント	見通し
金融業	<ul style="list-style-type: none"> ・メガバンク、証券、生損保の受注好調 ・株券電子化、電子マネーの受注好調 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合案件の動向注視 ・外注増加、管理体制強化 	
通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規基幹系システム案件は受注好調 ・既存運用監視、ヘルプデスクは受注順調 	<ul style="list-style-type: none"> ・NGNの動向注視 ・次世代高速無線通信の動向注視 	
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ICカード関連案件は受注好調 ・WEBコンテンツ、マイグレーションなどは新規顧客開発により受注順調 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる新規顧客開発 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業はDTV関連(組込案件)の受注好調 ・官公庁はシステム検討段階から参画している案件化により受注増加、既存は堅調 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業向け体制強化 ・組込み技術者育成、確保 	

受注状況は上期に引き続き好調に推移
 ビジネスパートナーとの連携も順調!!

(対前年300名BP増、2,100名でスタート)

連結・単体下期計画

(単位：百万円、%、カッコは上期実績)

	単体			連結		
	金額	売上比率	前期比	金額	売上比率	前期比
売上高	22,101	—	115.0	33,016	—	115.3
売上総利益	4,682	21.2 (19.0)	118.1	6,514	19.7 (18.1)	119.5
営業利益	2,919	13.2 (10.3)	129.3	3,210	9.7 (7.7)	129.1
経常利益	2,976	13.5 (11.3)	130.1	3,269	9.9 (7.9)	131.7
当期純利益	1,711	7.7 (6.9)	130.1	1,574	4.8 (4.2)	121.4

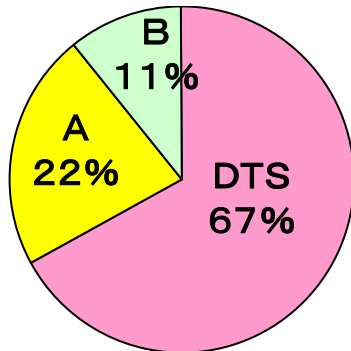
良好な市場環境とグループ全体の利益率改善により
売上：15%成長、経常利益：30%成長を見込む

グループ各社の下期計画

連結成長額の各社内訳

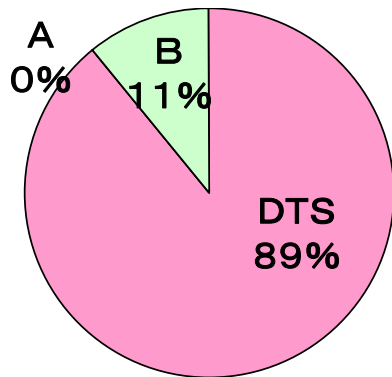
(単位：百万円、%は前期比)

・売上高 +43.7億円



	売上高		営業利益		
	金額	前期比	金額	前期比	
A	データリンクス	4,415	103.7%	229	79.5%
	FAITEC	2,759	138.8%	289	142.7%
	九州DTS	580	104.9%	52	99.0%
	MIRUCA	159	-	△27	-
連結増加額		9.6億円		0.0億円	

・営業利益 (のれん除く) +7.4億円



	売上高		営業利益		
	金額	前期比	金額	前期比	
B	日本SE	3,222	108.7%	181	-
	総合システムサービス	630	-	23	-
	RD	523	105.6%	18	-
連結増加額		4.7億円		0.9億円	

(日本SE社営業利益はのれん償却額2.2億円を除いた数値)

のれん償却額の伸び：+0.2億円

売上の伸びは上期を下回るも、グループ各社の収益改善とのれん償却額の影響軽減に伴い営業利益の伸びを拡大!!

下期重点課題

- ・プライム／SI売上比率の拡大(売上比率40%以上)
- ・グループ総合力の強化

『一貫サービス』の強化(コンサルテーションから保守までの全工程を受注)

- ・一括持ち帰り受注の推進
- ・PM、プロフェッショナル技術者の増強

『連結売上総利益率』の改善

- ・共同受注、営業協力、人材交流の一層の強化

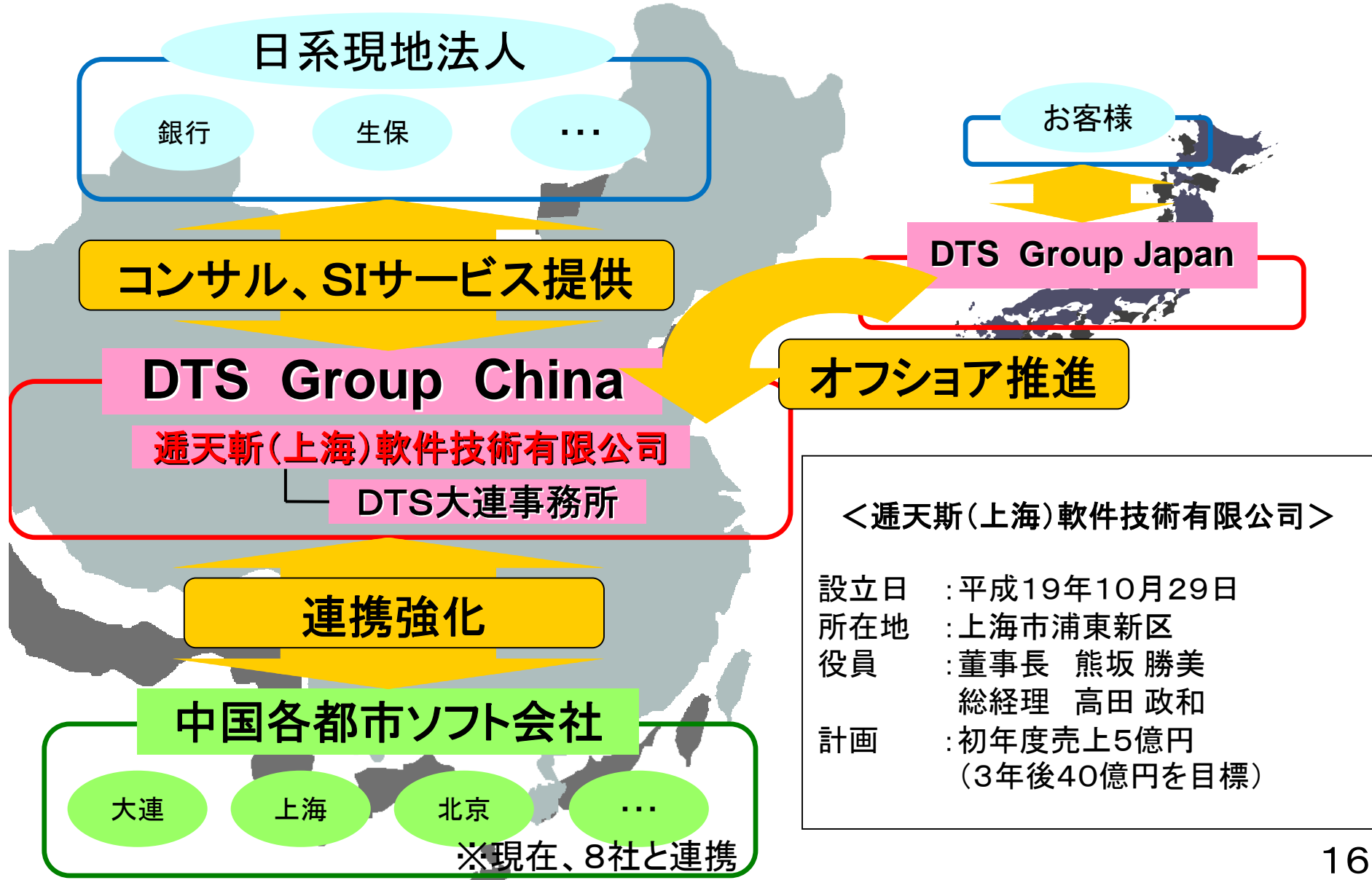
『オフショア展開』の本格化

- ・日系現地法人向けに現地でのサービスを開始
- ・海外アライアンスソリューション



次期中期総合計画に向けた足場固め

海外アライアンスソリューション展開



連結・単体通期計画

単体

連結

(単位：百万円、%)

	金額	売上比率	前期比	金額	売上比率	前期比	連単倍率
売上高	40,850	—	110.7	62,000	—	119.3	1.52倍
売上総利益	8,250	20.2	111.7	11,750	19.0	121.4	1.42倍
営業利益	4,850	11.9	117.3	5,450	8.8	114.6	1.12倍
経常利益	5,100	12.5	120.0	5,550	9.0	116.0	1.09倍
当期純利益	3,000	7.3	121.1	2,800	4.5	109.1	0.93倍

単体 … プライム／SI売上の比率向上

連結 … グループ総合力の強化、各社収益改善
大幅な増収増益を見込む!!

配当計画

当期純利益 3,000百万円

(前期比 +521百万円(121.1%)、売上比率 7.3%(前期比+0.6pt))



▪ **戦略的販管費は継続して活用**

(売上比率 8.3%(上期8.7%、下期8.0%)、前期比△0.5pt)

▪ **好調な市場環境を背景に利益は前年増を計画**

中間配当金(円)	期末配当金(円)	年間配当金(円)
20	※25(50)	※45(70)

※2007年10月1日を効力発生日とした株式分割(1対2)後の金額。
カッコは分割前に換算した金額。

中期計画と通期計画の比較

(単位：百万円、%)

	通期計画 (平成20年3月期)	中期計画 (平成21年3月期)	達成率	達成度
売上高(連結)	62,000	60,000	103.3	◎
売上総利益(連結)	11,750	11,000	106.8	◎
営業利益(連結)	5,450	6,000	90.8	○
@売上高(単体・千円)	15,963	15,600	102.3	◎
@営業利益(単体・千円)	1,895	1,800	105.3	◎

連結売上 600億達成
中期総合計画を1年前倒しで達成！！

業界トップグループの地歩を確保(次期中計策定中)